

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場会社名 株式会社KSK
 コード番号 9687 URL <http://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河村 具美
 (氏名) 牧野 信之

上場取引所 東
 TEL 042-378-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,967	3.7	706	48.3	736	45.9	464	51.9
27年3月期第3四半期	9,611	3.5	476	△15.7	504	△15.1	305	△11.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 464百万円 (33.5%) 27年3月期第3四半期 347百万円 (△14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	74.56	73.92
27年3月期第3四半期	48.25	48.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	11,821	8,770	73.8	1,403.80
27年3月期	12,048	8,533	70.6	1,347.62

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 8,718百万円 27年3月期 8,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	6.9	970	6.3	1,000	5.1	670	27.7	107.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	7,636,368 株	27年3月期	7,636,368 株
28年3月期3Q	1,425,663 株	27年3月期	1,325,663 株
28年3月期3Q	6,226,705 株	27年3月期3Q	6,331,827 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和策等により、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、個人消費は依然として伸び悩んだまま推移しております。また、海外景気は欧米経済が底堅く推移しているものの、中国経済の減速や原油をはじめとした資源価格の大幅な下落により資源国の経済が失速するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、企業のシステム投資は回復傾向にあり、全体として需要が増加しております。また、今後はI o T (モノのインターネット)の本格化により、新たなニーズが生まれ需要が拡大するものと思われまます。

このような環境の中で、当社グループでは、引き続き技術者の投入先については選択と集中の方針の下、稼働率の向上や受注単価改善に向けて積極的に営業活動を展開し、収益性の向上に努めてまいりました。また、当社グループの企業イメージを確立するために、ブランディングメッセージ「マジメな未来を かたちにする We are Team KSK」を制定いたしました。今後は社内外への展開と浸透を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,967百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益につきましては706百万円(前年同期比48.3%増)、経常利益につきましては736百万円(前年同期比45.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては464百万円(前年同期比51.9%増)となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間には、第1四半期に創立40周年記念事業を実施したことによる総額112百万円の費用支出が含まれており、当第3四半期連結累計期間の各利益項目は前年同期比で増加しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

装置設計業務の稼働率が低下する一方で、半導体設計業務の受注が増加し併せて収益性の改善に努めたことなどから、売上高は2,001百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は461百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(ロ) ITソリューション事業

大口の開発案件が増加したことにより稼働率が改善されたものの、外部委託も含めた新たな開発要員の確保が難しいことなどから、売上高は2,794百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益は379百万円(前年同期比64.0%増)となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

常駐型ビジネスは比較的堅調に推移したものの、外部委託を活用したビジネスが拡大できず、売上高は5,171百万円(前年同期比4.7%増)、セグメント利益は882百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、11,821百万円と前連結会計年度末に比べ226百万円の減少となりました。これは主に、流動資産の有価証券が198百万円、仕掛品が156百万円、固定資産の投資有価証券が503百万円、投資その他の資産その他に含まれる長期性預金が300百万円それぞれ増加した一方で、流動資産の現金及び預金が1,014百万円、受取手形及び売掛金が337百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債は、3,050百万円と前連結会計年度末に比べ464百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、流動負債その他に含まれる未払費用が128百万円、同預り金が173百万円それぞれ増加した一方で、流動負債の未払法人税等が119百万円、流動負債その他に含まれる未払消費税が280百万円、賞与引当金が413百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、8,770百万円と前連結会計年度末に比べ237百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により464百万円、新株予約権が22百万円それぞれ増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が157百万円、自己株式の取得により91百万円、その他有価証券評価差額金が12百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月1日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702	3,687
受取手形及び売掛金	2,912	2,574
有価証券	800	999
商品	—	0
仕掛品	113	270
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	638	592
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	9,164	8,122
固定資産		
有形固定資産	654	648
無形固定資産	131	154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,588	2,092
その他	536	830
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	2,098	2,895
固定資産合計	2,883	3,699
資産合計	12,048	11,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	152	131
短期借入金	40	100
未払法人税等	215	96
賞与引当金	861	447
工事損失引当金	0	6
その他	1,069	1,053
流動負債合計	2,338	1,835
固定負債		
退職給付に係る負債	908	946
資産除去債務	43	43
その他	224	224
固定負債合計	1,176	1,215
負債合計	3,515	3,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	6,005	6,311
自己株式	△679	△771
株主資本合計	8,411	8,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	196
退職給付に係る調整累計額	△116	△104
その他の包括利益累計額合計	93	92
新株予約権	25	47
非支配株主持分	3	3
純資産合計	8,533	8,770
負債純資産合計	12,048	11,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	9,611	9,967
売上原価	7,898	7,968
売上総利益	1,713	1,999
販売費及び一般管理費	1,236	1,292
営業利益	476	706
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	8	12
その他	6	4
営業外収益合計	29	30
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	504	736
特別損失		
固定資産除却損	3	8
特別損失合計	3	8
税金等調整前四半期純利益	501	727
法人税等	195	263
四半期純利益	305	464
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	305	464

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	305	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△12
退職給付に係る調整額	11	11
その他の包括利益合計	41	△0
四半期包括利益	347	464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347	463
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,923	2,748	4,940	9,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	2	2
計	1,923	2,748	4,942	9,614
セグメント利益	410	231	787	1,428

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,428
セグメント間取引消去	76
全社費用(注)	△1,028
四半期連結損益計算書の営業利益	476

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	I Tソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,001	2,794	5,171	9,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	3	11
計	2,001	2,803	5,175	9,979
セグメント利益	461	379	882	1,724

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,724
セグメント間取引消去	73
全社費用（注）	△1,091
四半期連結損益計算書の営業利益	706

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。